

令和2年度 加盟団体主要行事一覧表（令和2年10月～令和3年3月）

月	日	時 間	行 事 名	場 所	団 体 名
10	25	9:30～13:00	萩市合同吟剣詩舞道大会	萩市総合福祉センター	萩市吟剣詩舞連盟
11	23	10:00～16:30	大津あきら顕彰「歌謡フェスティバル」	ルネッサながと	NPO北浦音楽芸能文化協会
2	28	10:00～14:00	利休忌茶会	千春楽	表千家萩千萩会
3	14	14:00～16:00	第1回萩近郊芸術演奏会	萩市民館大ホール	萩音楽協会
	27～28	10:00～16:00	第37回池坊山口県連合支部 池坊展	萩市民体育館	華道家元池坊萩支部

※各団体から報告のあったもののみを掲載（中止、順延等あります。9月末現在）

三輪龍氣生展

－行け、熱き陶の想いよ。

令和2年9月12日(土)～12月20日(日)

山口県立萩美術館・浦上記念館

三輪龍氣生（十二代休雪、本名龍作）氏は、個性の現実作り手が思考したかたちそのものとして表現されることを自明として制作実践を重ねてきた陶芸家であり、陶芸的造形の未来を予想させる先駆的作家です。



豊饒の視志 令和2年（2020） 個人蔵

第25回北浦歌謡フェスティバル開催される

8月1日 市民館 大ホール

主催/NPO北浦音楽芸能文化協会

感染防止対策徹底 5カ月ぶりに音楽の催し

当日は50人以上が演歌を中心に自慢の歌声を披露し、地元フラダンスグループや男なら保存会なども賛助出演した。約300人の観客が駆け付けて手拍子をしたり、ペンライトを振ったりして楽しんだ。

文化協会へ寄付

主催者であるNPO北浦音楽芸能文化協会様より、萩市文化協会の事業発展に活用してくださいと寄付をいただきました。

編集後記

▼萩市は、今や感染者ゼロの、稀有の素晴らしい地域です。感染防御への住民の意識の高さに依るところ大でしょう▼私事ですが、秋田で開催予定の大会に参加予定でしたが、誌上大会となり、旅の機会が奪われてしまいました▼みなさん、関与している大会や会合が中止になったり、一堂に会せず、IT等で意見を寄せ合う誌上大会やリモート会議になったりして、淋しかったり物足りなかつたりしていらつしやることでしょう▼さらにこれから、どんなマイナスの影響が出て来るのかと不安を感じているのは、私一人だけではないでしょう▼勿論、プラスの影響も出て来るでしょう。既に現況の困難にいろいろ工夫して立ち向かい成功して、それが、未来への改革に繋がるというニュースもあります▼令和の時代をどう生きるか考えさせられる秋です▼今回は、新規加入の二団体から確かな活躍の原稿を嬉しくいただきました▼時節柄、くれぐれもご自愛ください。

（編集委員長 大場 洋）

第25号

令和2年（2020）9月発行

萩市文化協会
会長／有富 美子

編集
会報編集委員会
委員長／大場 洋



葛飾北斎
〈風流無くてなぐせ 遠眼鏡〉



山口県立萩美術館・浦上記念館名誉館長

浦上敏朗氏 ご逝去

山口県の芸術文化の向上、地域文化の振興に多大な貢献をされ、また、世界的な浮世絵コレクターとして知られた、山口県立萩美術館・浦上記念館の浦上敏朗名誉館長が八月十五日ご逝去されました。

衷心より哀悼の意を表します。

合掌



〈青花月兔文栗鼠耳角扁壺〉

明けない夜はない

会長 有富 美子



有富会長

世界中で猛威を振る新型コロナウイルス感染症の拡大は未だ収まることを知らず、連日報道される感染者数に驚いています。山口県でも不安を抱きながら生活されていることと思います。文化活動におきましても、活動の自粛や休止等、不自由な状態が続いていると思います。スポーツやサークル活動等でクラスターが発生したニュースを聞くたびに胸が痛みます。しばらく今までの異なる活動形態になることが予想されます。しかし決して文化の火を消すことが無いよう、焦らず無理をせず、状況を見ながら活動を模索していきたいものです。すでにいろいろな点に留意しながら活動を続けられている団体もあると思いますが、多くの関係機関が感染症に関する注意喚起や拡大防止のガイドラインを出していますので、今一度、それぞれで確認し、お互いが安全で安心して活動できるよう、感染予防に十分配慮し取り組んでいきましょう。「明けない夜はない」ことを信じて前向きに過ごしましょう。

令和二年度 萩市文化協会総会 コロナ禍で書面議決

令和二年五月三十日開催予定だった萩市文化協会の総会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となり、書面審議となりました。

令和二年度総会 議決結果

総会（書面開催）の結果、第一号議案、第二号議案はいずれも全員一致で可決されました。

一、令和元年度事業報告

（一）主な共催・後援事業

▽第二十四回北浦歌謡フェスティバル（五月、萩市民館）

▽下瀬信雄展「天地結界」（五月、山口県立美術館）

▽萩美術協会特別展「横山繁作品展」（六月、萩市民館）

▽山口県総合芸術文化祭二〇一九第七十四回合唱コンクール山口県大会（八月、萩市民館）

▽第十五回萩市美術展（十月、萩市民館）

▽神田松之丞「講談漫遊記」（十月、萩市民館）

▽桂文枝「独演会」（十一月、萩市民館）

▽「元氣が出る！オーケストラコンサート」（十二月、萩市民館）

（二）萩の友発行、二十三号九月、二十四号三月

二、令和元年度決算報告

収入総額は二六九、六〇七円

支出総額は一七四、四三六円

三、令和二年度事業計画

（一）主な共催・後援事業

▽第二十五回北浦歌謡フェスティバル（八月、萩市民館）

▽第十六回萩市美術展（十月、萩市民館）

▽第三十六回萩・阿武・長門合同短歌会（十月、萩市総合福祉センター）

▽萩市合同吟剣詩舞道大会（十月、萩市総合福祉センター）

▽大津あきら顕彰「歌謡フェスティバル」（十一月、ルネッサながと）

（二）萩の友発行、二十五号九月、二十六号三月予定

四、令和二年度予算

収入総額は二七六、一七一円

支出総額は二七六、一七一円



故浦上敏朗先生を偲ぶ

表紙につづく
穏やかで柔和なお人柄で、萩美術館での催し物の折は東京より帰省されて、来館された方々と気さくに談笑されていたお姿が目につかびます。（有富美子）

略歴

大正十五年四月一日 萩市橋本町生まれ

昭和十八年 県立萩中学校卒業

昭和二十二年 山口経済専門学校（現山口大学経済学部）卒業

昭和三十三年 清久鋳業株式会社社長

昭和四十八年 株式会社ジャパンアート

昭和五十六年 日本浮世絵協会（現国際浮世絵学会）常任理事

平成三年 東洋陶磁学会監事、名誉会員

平成八年 山口県立萩美術館・浦上記念館名誉館長

平成十三年十一月 地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）

平成十八年十一月 山口県文化特別功労賞

受賞歴等

平成六年三月 紺綬褒章

平成六年十月 萩市名誉市民

平成八年十一月 山口県選奨（芸術文化功労者）

平成十三年十一月 地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）

平成十八年十一月 山口県文化特別功労賞

毎月新山口駅コンコースで演奏

新規加入団体会員 萩ハーモニカ同好会

会長 梶本博昭

私とハーモニカの関わりは小学校六年の時、一年だけ探り吹きでしたが、ベースを入れられ、まわりの大人に「上手やのう」と褒められました。

それから六十年のブランクを経て、三年前萩ハーモニカ同好会を結成。山口から講師を招聘し、教えを仰ぎました。楽譜が音符から数字譜に変わり、元々我流だったので頭が混乱し、先生からは「根本さんは我流で基礎を習っていないので修正に時間がかかる」と言われ、その言葉で頑張って練習すれば、これ以上下手にはならないと恥ずかしながらわかり、一念発起、最近ではCDを買って聞きながら吹いて私なりに猛練習をしています。

萩ハーモニカ同好会は二〇一七年三月結成し現在講師と会員十人、月に二回市民館か福祉センターを利用して練習し、和気藹々誼を結んでいます。



市役所ロビー等に生け花でお迎え

陶芸家協会とコラボ 萩華道協会

会長 長岡満江

平成十八年国民文化祭参加の陶芸展に協賛して開催された「器と花のコラボレーション」を皮切りに、以来毎年のように萩陶芸家協会の皆様の作品とコラボさせていただいております。恒例の萩焼まつりでは会場内の一角で萩焼とのコラボを。

流派は違えどコラボの度に顔を合わせる生け花グループの中から、自然発生的に協会結成の話がまとまり平成二十六年八月に「華道協会」として発足しました。以来、二年に一度会員によるいけばな展を開催しています。

現在八流派、一葉流、小原流、花芸安達流、池坊萩支部、嵯峨御流、柴山流、草月流、未生流中山文甫会で、会員数三十九名。

市役所ロビー等に生け花を

奉仕活動として平成二十八年四月から市役所ロビーに、令和二年三月からは福祉センターに、会員

